

マックス・E・アマンの 世界馬術界展望

マックス・E・アマン氏は政治ジャーナリストから馬術界に転身し、障害飛越のワールドカップを創設しオーガナイズするなど馬術界に多大な貢献をしてきた人物だ。そのアマン氏が、世界の馬術界の過去から現在までの話題を縦横に語る。

text: Max E. Ammann design: DynamiteBrothersSyndicate

ふたたびの スポットライト

1 912年から2012年までにオリンピックの馬術競技に出場した選手の総数は2172人。その大半は競技人生の幕引きとともに公の舞台から去っていった。そのうちの数百人は馬関連の仕事、たとえば馬のトレーナーや、馬術の教師やトレーナー、コーチ、そして競技のコースデザイナー、さらには馬術ライター、テレビのコメンテーターなどとして活躍している。

今回はオリンピックライダーや国際的な活躍をしていたライダーの中で馬術界を離れ第二の人生を送った人々、また本人の意思とは関係なく公の舞台に立つことになった人々について触れよう。

この軍人でありオリンピックも経験したライダーの中でも傑出した存在が1932年のロサンゼルスオリンピックにおいて障害飛越競技で優勝した西竹一だ。陸軍中尉だった西は44年、戦車連隊の指揮官として太平洋に浮かぶ硫黄島へ上陸を命ぜられた。西はこの島でアメリカ軍と戦い戦死した。ワシントンにあるアーリントン墓地にはこの硫黄島の戦いの記念碑が立てられ、西の戦死の状況が刻まれている。スウェーデンのアイエ・ランドストロムは20年にアントワープ、24年にパリとチームキャプテンとしてオリンピックに出場し、共にチーム金メダルを獲得した。軍では将官に昇進し、スウェーデン空軍の指揮官となった。さらに時代をさかのぼると、アメリカのガイ・ヘンリーは12年のストックホルムオリンピックで

第二の人生にスポットライトが当たった人々を語るに、前世紀の50年代までのほぼ全競技者が軍人だった時代から始めよう。国際的な競技会からこうした軍人の姿が消えてからは、競技者が引退するとすぐに表舞台から姿を消すようになった。前述したようにごく少数は馬関連の仕事に従事するが、そのほとんどがその後、名前さえ聞くこともなくなるのだ。

一方、軍人が活躍した時代は様相が違っていた。国際的な名声を得たライダーの名が引退とともに消えることの方が稀だったのだ。軍の存在と当時の社会情勢がこうした引退ライダーにさまざまな機会を用意した。

チーム金メダルを得、後にやはり将官となり騎兵隊長となった。その後、E.H.の会長に選出された。24年のパリオリンピックに出場したポーランドのタデウシュ・コモロスキは同じ軍人ながら違った形でその名を留めている。彼はナチス占領下のポーランド国内軍の司令官であり、ブルという偽名でレジスタンス活動を行っていた。44年8月、ポーランド国内軍がドイツ軍に対しワルシャワ蜂起を起したが、10月に降伏し、蜂起は失敗に終わった。36年のベルリンオリンピックにポーランド代表として出場したヘンリック・ロイスウイクズもレリワという偽名でレジスタンス運動に関わり、蜂起の時は副司令官を務めた。

ベルリンオリンピックで金メダルを獲得したドイツ将校の中にも歴史の証人となった人物がいる。ハインツ・ブランドは44年7月20日、大本営で作戦会議に出席している最中、ヒトラーの暗殺を意図した爆発に巻き込まれ重傷を負い、翌日亡くなった。この時、ヒトラーは難を逃れ軽傷で済んだ。オランダでは2人のオリンピック出場選手がナチズムの犠牲になっている。28年アムステルダム、36年ベルリンオリンピックの馬場馬術競技に出場したピエール・フェルステーフはドイツ占領下のオランダで地下活動を行っていた。42年に逮捕され、形だけの裁判の後、処刑された。同じく36年のベルリンオリンピックで軍人ではなく一般市民のライダーとして初めて総合馬術に出場したエディ・カーンにはユダヤ人をポルトに乗せ、イギリスに逃がそうとしたところ、ドイツ軍に捕えられ殺された。

戦後のライダーたち

第二の人生を語る際、ある意味もっとも有名なのが48年ロンドンオリンピックの障害のチャンピオ



上:39年、ベルリンオリンピックに出場したヘンリック・ロイスウイクズ。出典:Wikipedia
左:ポーランドのタデウシュ・コモロスキ氏。出典:Wikipedia from "Armia Podziemna" (The secret army), Warsaw 1989



人生が大きく分かれたサリナス兄弟。大統領にまでのぼりつめたカルロスと犯罪の容疑者として拘束されることになるラウル。演台の前に立つのがカルロス、男女でヨットに乗っているのがラウル。上 ©Time & Life Pictures/Getty Images 下 ©Getty Images

ン、メキシコのフンベルト・マリレスだろう。ある日、ハイウェイを運転していたマリレスの車の前に別の車が割り込んできた。それを見たマリレスはウィンドウを下ろし、その運転手を撃つたのだ。その結果、数年間の刑務所暮らしが待っていた。釈放された後、今度はパリでヘロインの密輸で逮捕された。数日後、パリの刑務所で死んでいるのが発見されている。おそらく殺害されたものと見られている。

この時、馬術選手の中でもっとも注目を集めたのはロシアのドミトリ・パヴロヴィッチ大公だった。パヴロヴィッチ大公はこの時21歳、ロシア皇帝、アレクサンドル3世の甥であり、最後のロシア皇帝、ニコライ2世の従兄という血筋だ。彼はこの4年後、親友のフェリックス・ユスポフ公爵と謀り、怪僧として知られるグリゴリー・ラスプーチンを暗殺したこともその名を歴史に残している。

セザール・メンドーサは52年ヘルシンキオリンピックのチリの障害チームの一員で、このときチンドーサはその後、カラビネーロスと呼ばれるチリの警察軍の大將となり、やがて監察総監に任命される。73年、サルバドル・アジエナ大統領の政権に対し軍がクーデターを引き起こし、政権を転覆。世にいうチリ・クーデターだ。その後、アウグスト・ピノチェットによる20年間にわたる独裁政権へと引き継がれる。メンドーサはこの軍事政権の一翼を担った。

50

年代以降の馬術界は軍人の時代から市民の時代に入った。市民ライダーの中でフランスのジャン・ドルゲイとドイツのジョセフ・ネッカーマンの第二の人生が興味深い。フランスの名門の出であるドルゲイは48年、ロンドンオリンピック障害競技で銅メダルを得るとともに、その他の国際競技で数多くの受賞歴を持つ。実はドルゲイは馬術にのめり込む前はジャン・パキという名でパリの舞台上に立つ俳優だった。後半生ではアフリカでのハンティングの愛好者となったり、飛行機のパイロットとして航空記録を作ったりして

いる。彼はまた馬術のトレーニング用教本を二冊著し、50年代には馬術教則のバイブルと考えられていた。

一方、ジョセフ・ネッカーマンは馬場馬術の競技者としてオリンピックにおいて6つのメダルを獲得している。そして、その後の半生はネッカーマン通信販売会社とネッカーマン旅行会社を創始し、社長の席に長く座っていた。彼の娘、エビ・プラシエットはカナダの代表として84年ロサンゼルス、88年ソウルの2つのオリンピックに出場し、さらに孫娘のマルティナ・プラシエットは92年バルセロナオリンピックに出場している。フィンランドでは80年モスクワオリンピックに出場したクリストファー・ヴェゲリウスは国の主要貯蓄銀行の重役となった。また、56年ストックホルム、60年ローマのオリンピックにスウェーデン代表として出場したアンダース・ヘルナントはテレビのコメンテーターとして、絶大な人気を博した。76年モントリオールに出場したメキシコのフェルナンド・センドロスと、同じオリンピックで控え選手だったドイツのヘンドリック・スノークはともに誘拐され、トップニュースとして扱われた。富裕なビジネスマンの後継者だったために起きた事件であり、ともに巨額の身代金が払われたあと解放されている。

メキシコのラウル、カルロスというサリナス兄弟についても触れるべきだろう。この兄弟はオリンピックにこそ出場していないがラ

マックス・E・アマン

1938年、スイス生まれ。1964年に渡米しニューヨークの国連本部詰め外国人特派員として主に政治関係のジャーナリストとして活躍。69年に『スイス・アメリカン・レビュー』紙の編集長に就任。73年にスイスに帰国し、『ルツェルン新聞』に編集長として迎えられる。そのかわら、馬術競技観戦が趣味だったことから馬術関連の記事も手掛け、翌74年に国際馬術ジャーナリスト連盟(IAEJ)の会長に就任。78年新聞社を退社、以降、馬術のさまざまな大会でディレクターを務めるなど多大な貢献をしてきた。

イダーとして70年代に大いに活躍し、ラポールで開催された世界選手権などに出場した。兄のラウルは口数が少なく、当時ハーバード大学に通っていた弟のカルロスがスポークスマン役を務めていた。後年、カルロスはメキシコ大統領(88年から94年まで)にのぼりつめ、ラウルは殺人罪で50年の刑を受け刑務所暮らしに転落した。さらにラウルは公金横領、公文書偽造などの罪にも問われる。カルロスは兄の逮捕を受け95年にアメリカに出国した。その後、ラウルは殺人、マネーロンダリングともに証拠不十分で起訴が取り下げられ、無罪の判決を受け釈放されている。この事件で興味深いのは93年にラウルの当時のガールフレンド、マルガリータ・ナヴァ・デ・ゴンザレスがスイスの銀行口座から1億ドルを引きだしている。この1年後、マルガリータ・ナヴァ・デ・ゴンザレスはメキシコ代表として、ロサンゼルスオリンピックの馬場馬術競技に出場したのだ。